【基本的な公式】任意の命題 P, Q, R に対して次が成り立つ.

- $(1) \neg (\neg P) \Leftrightarrow P$
- (2) $P \vee Q \Leftrightarrow Q \vee P$
- (3) $P \wedge Q \Leftrightarrow Q \wedge P$
- $(4) \neg (P \lor Q) \Leftrightarrow (\neg P) \land (\neg Q)$
- (5) $\neg (P \land Q) \Leftrightarrow (\neg P) \lor (\neg Q)$
- (6) $(P \Rightarrow Q) \Leftrightarrow (\neg P) \vee Q$
- $(7) (P \lor Q) \lor R \Leftrightarrow P \lor (Q \lor R)$
- (8) $(P \wedge Q) \wedge R \Leftrightarrow P \wedge (Q \wedge R)$
- (9) $P \wedge (Q \vee R) \Leftrightarrow (P \wedge Q) \vee (P \wedge R)$
- (10) $P \lor (Q \land R) \Leftrightarrow (P \lor Q) \land (P \lor R)$

問 1.5. 任意の命題 P, Q に対して次が成り立つことを示せ.

- $(1) (P \Rightarrow Q) \Leftrightarrow ((\neg Q) \Rightarrow (\neg P)) \qquad (対偶律)$
- $(2) (P \Leftrightarrow Q) \Leftrightarrow ((\neg P) \Leftrightarrow (\neg Q))$
- $(3) \neg (P \Rightarrow Q) \Leftrightarrow P \land (\neg Q)$

問 1.6. 次の命題の否定を述べよ.

- (1) 僕はサッカーが好きではない.
- (2) 彼は AKB48 か乃木坂 46 のどちらかが好きだ.
- (3) 「大学基礎論」と「英会話」を落とした...
- (4) 僕は昨日穴に落ちたけど、君は1000円か5000円を落とした.
- (5) ごんべが種まきゃカラスがほじくる.
- (6) 彼はサッカー部に入るか、茶道部に入って高い茶器を買うかのどちらかだ.
- (7) 君がかつ丼を食べれば、僕は超大盛り豪華かつ定食とレバニラ炒めを食べる.
- (8) かつ丼が500円で食べられれば、僕は2杯か3杯食べるつもりだ.

問 1.7. 次の命題の対偶を述べよ.

- (1) 元気があれば何でもできる.
- (2) 明日の試験で合格点が取れれば、追試を受けなくてもいいし遊びに行けるのに.
- (3) 君がデートをしてくれるなら、バックかアクセサリーをプレゼントするよ.
- (4) 炬燵で丸くなっているか庭を駆け回っているなら、それは猫か犬だ.

問 1.8. 自分の子供に「勉強しなさい、勉強しなさい」と小言を言う母親をよく見かける. 「文句ばかり言わないでくれよ」と口答えをすると「お前が勉強しないから私が文句を言うんでしょ、お前が勉強さえすれば文句は言いません」とさらにエスカレートする. それでは、お母さんの言っていることの対偶を述べよ.

「任意」と「存在」 次の2つの命題を考える.

- 任意の奇数 x に対し、 x^2 は 4 で割ると 1 余る
- x^2 が正にならない整数 x が存在する.

最初の命題を証明するとき、たとえばx=1のとき、x=3のとき、x=5のときというように、いろいろな奇数を当てはめて考えても意味がなく、無限にある奇数すべてに通用する議論が必要になる.

一方,2番目の命題は,すべての整数 x に対し x^2 が正にならないことを示すのではなく,一つでも x^2 が正にならない整数 x が見つかればよい.よって「x=0 のときに $x^2=0$ となり正ではない」と言えば,それで証明になる.

逆に、上の命題が偽であることを示すには、それらの否定を示せばよいのだから、最初の命題では「 x^2 を 4 で割ったあまりが 1 ではない奇数 x が存在する」ことを示すことになる。これは、無限の場合を考える必要はなく、一つの例を挙げればよいことになる。(実際にはそんな例はないのだが)

同様に2番目の命題の否定は「任意の整数xに対し、 x^2 は正になる」ということを示すことが偽であることを示すことになる。(これも示すことは不可能だ)